

令和6年度～

マイスター・ハイスクール普及促進事業

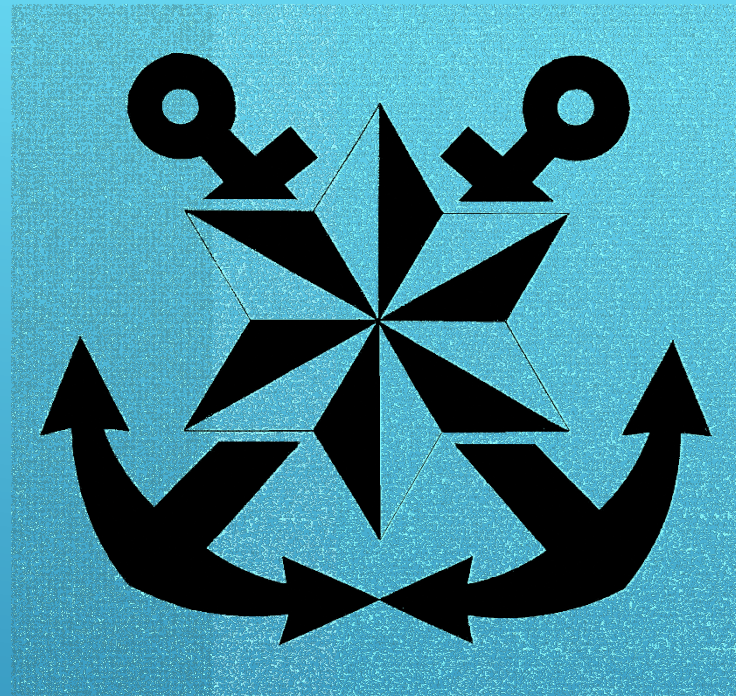
～新潟県立高田農業高等学校との連携～



新潟県立海洋高等学校

120年以上の 歴史と伝統がある 海洋高校 沿革

- 1898年（明治31年）創立
- 1948年（昭和23年）新潟県立能生水産高等学校へと改称
- 1993年（平成5年）新潟県立海洋高等学校へと改称
- 2015年（平成27年）現在の学科構成になる
- 2018年（平成30年）創立120周年
- 2019年（令和元年）第2代海洋丸就航



新潟県糸魚川市

200m



スクールミッション

【産学官連携の実習をととして、地域振興と水産・海洋関連産業の発展に貢献する学校】

- ・ 産学官連携の水産・海洋関連の実践的実習をととして、地域振興に資する能力を育成する。
- ・ 創立以来、水産・海洋関連産業に有意な人材を輩出してきた学校として、地方創生時代において地域産業を牽引できる人材を育成する。
- ・ 確かな知識・技術を身につけた生徒を育成し、水産・海洋関連産業の発展に貢献する。

創立124年

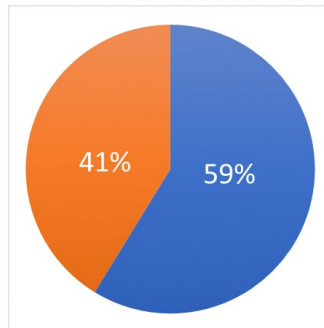
明治からつづく
水産教育の拠点

中部日本海側
唯一の単科の
水産・海洋系高校

特色ある取組

- 「目指せスペシャリスト事業」
(平成20～22年／文部科学省)
- 「糸魚川市水産資源活用産学官連携事業」
(平成27年～／糸魚川市)
- 「地方創生加速化交付金」による事業
(平成28年／内閣府)
- 「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
(平成29～30年／文部科学省)

糸魚川市・上越市以外からの 入学者の増加



■ それ以外 ■ 糸魚川市
上越市

令和7年度 在校生の出身地別構成

生徒総数

211名

男 173名 / 女 38名
(水産科定員80名)

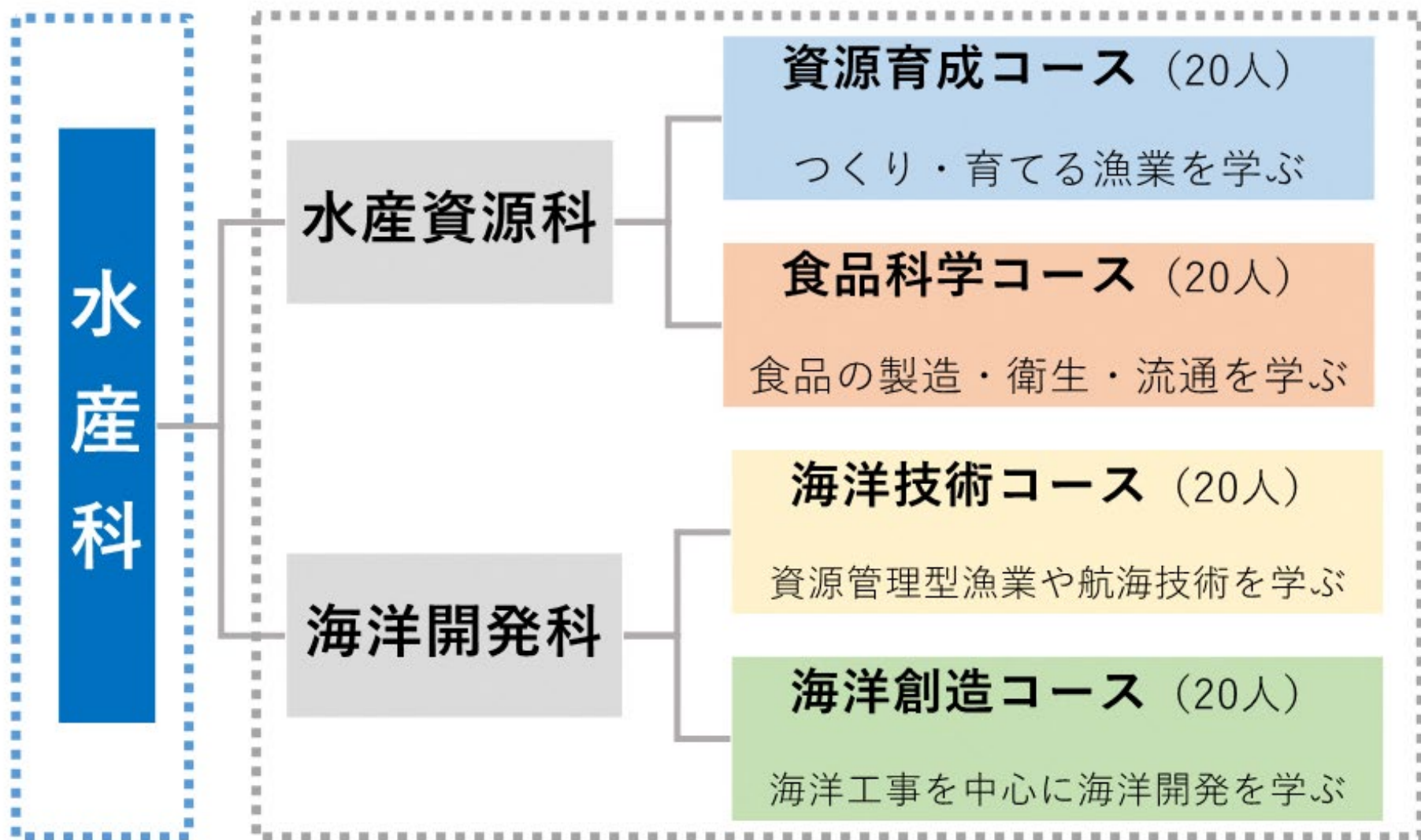
令和7年5月1日現在

入学者の出身地

	H28	H29	H30	R元	R2	R3★	R4	R5★	R6★	R7	合計
新潟県内遠隔地	18	12	9	13	18	23	15	14	20	15	157
長野	7	5	7	4	6	5	3	7	8	6	58
群馬	2	8	3	3	3	3	4	8	2	7	43
埼玉	1	3	2	3	4	1	3	5	3	5	30
東京		2	1		1	1	2	1	1	3	12
千葉	1	1	2	2	2		2	3	2		15
富山	1		1		1				2		5
石川	1	1	2					1			5
山形	1										1
福島				1	1					1	3
秋田			1								1
その他	2	2	2	3	3	3	2	3	2	1	23
計	34	34	30	29	39	36	31	42	40	38	353

1年

2・3年



※各コースの定員は入学者数の25%

産学官連携事業の発展 ～マイスター・ハイスクール事業へ～

平成27年度
糸魚川市水産資源活用
産学官連携事業

食品科学コース
の取組

令和3年度
マイスター・ハイスクール

海洋高校単独の取組

令和6年度
マイスター・ハイスクール
普及促進事業

水産・農業
高校の取組

にいがた鮭の魚醤「最後の一滴」



遡上鮭の有効利用を目的に、科目「課題研究」でH25年に商品化。H27年より海洋高校生による開発・生産・販売等と学校PR等を、海洋高校と能水商店と地元自治体が連携して実施（「糸魚川市水産資源産学官連携事業」）。

糸魚川市水産資源活用産学官連携事業（H27年～）

研究／実践

（開発・マーケティング・販売）

事業

（生産・施設管理・財務・会計）

海洋高校



株式会社 能水商店
（H30年～）

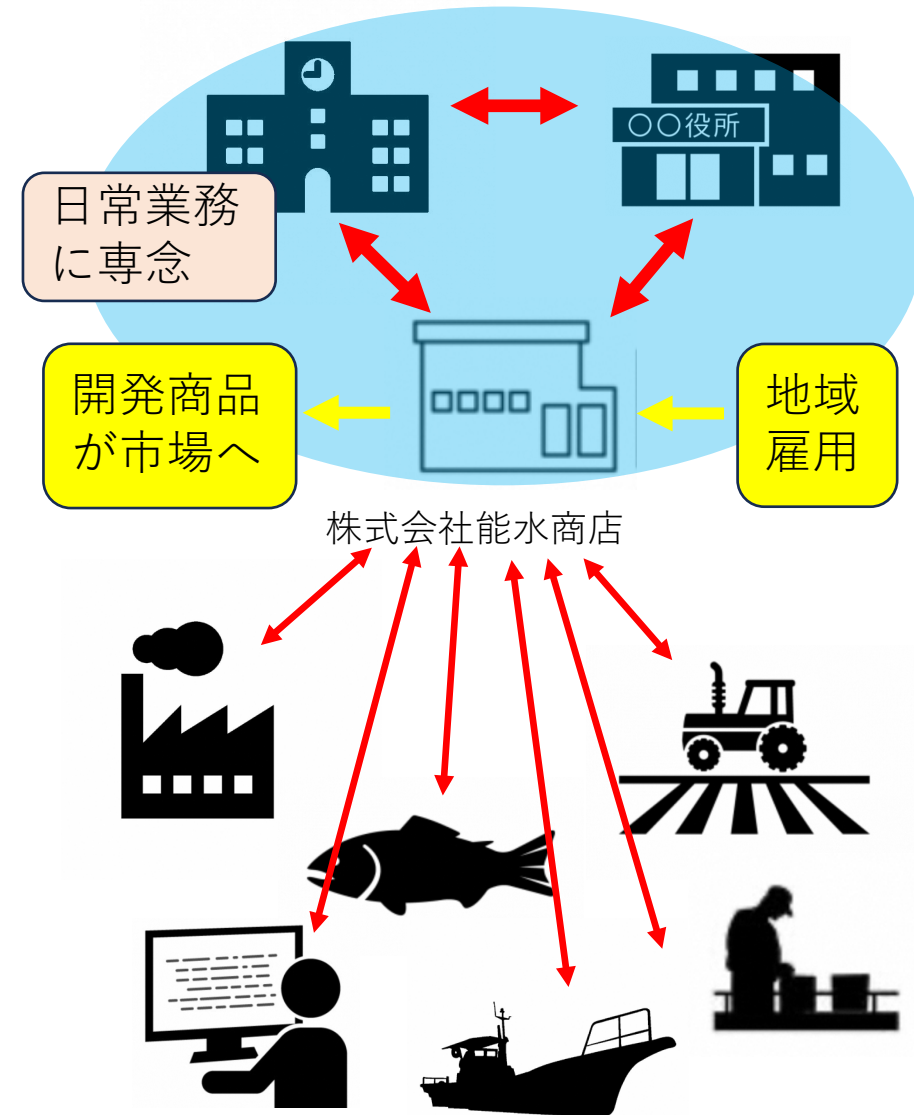
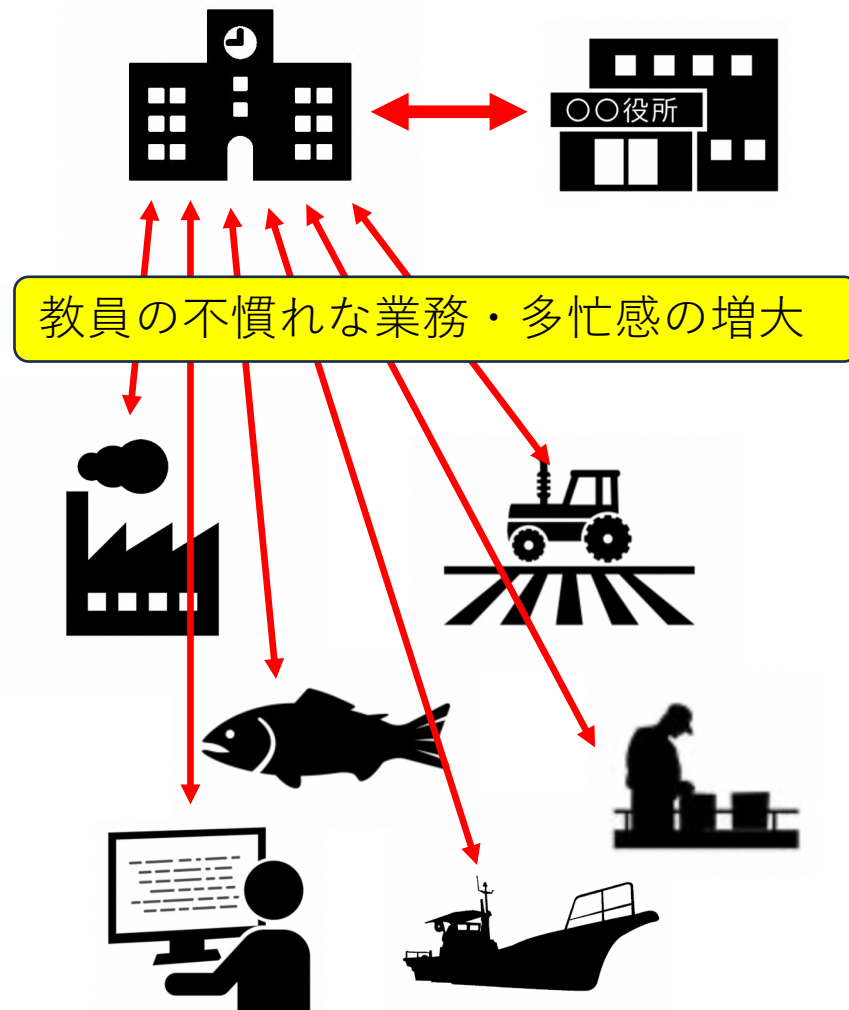


糸魚川市 産業部 農林水産課

実際の職業現場を生徒の実習の場として活用

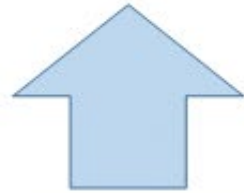
人材育成システムの構築

産学官連携による実践的な学習機会づくりが確立した



活力ある地域産業を担う 海洋・水産プロフェッショナル

(仕事を通じて自己実現を図りながら、他者と協働してより良い社会をつくる行動ができる)



海洋・水産に関する専門性

「重点的に伸ばす3つの力」
協働力 / 行動力 / 自己管理力

<成長の測定>

- マイスター・ハイスクール 自己評価アンケート
- 学びみらいPASS
- 資格取得率
- ルーブリックによる 自己評価と各教科・コースの評価および学期末面談

次世代の水産業・農業を担うプロフェッショナルの育成

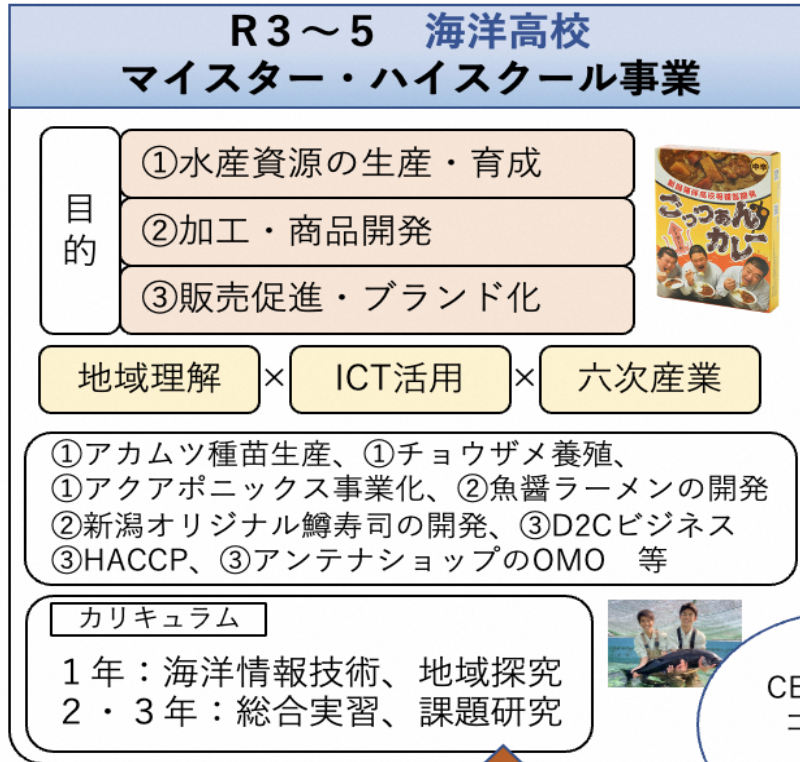
現状と課題

- ・産業構造の変化に即応した産業人材育成が急務
- ・海洋高校においては産業界と連携した課題解決型の教育プログラムを展開
- ・海洋高校の産業界と連携した取組の成果を、県内の他の専門高校に普及できていない

事業の目的

海洋高校におけるマイスター・ハイスクール事業の成果を、近隣の専門高校（農業高校）に普及し、ICTの活用や六次産業化等、次世代を担う産業人材を育成する

事業概要



発展・普及

CEOによる
コーディネート

連携

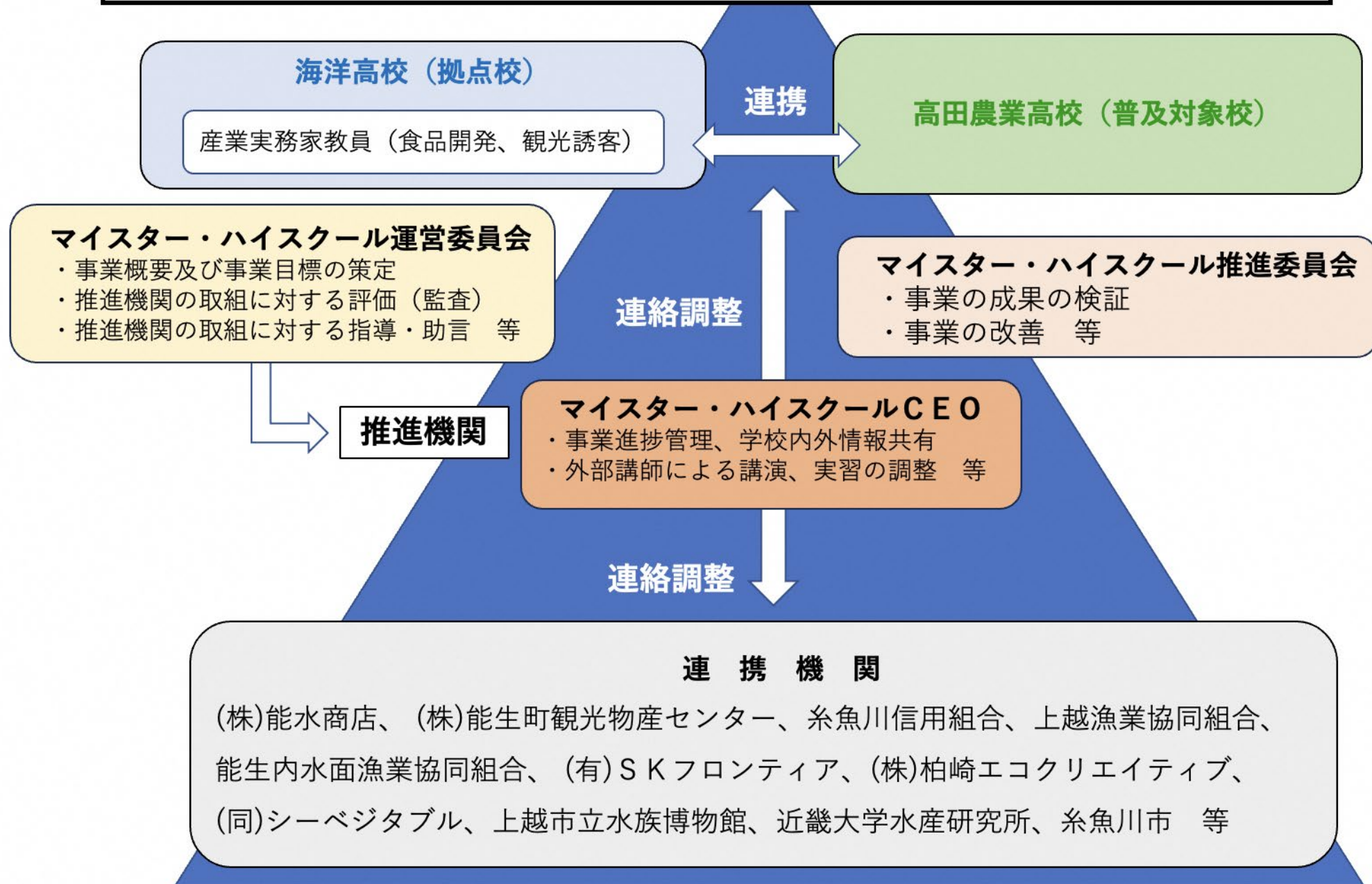
企業、大学、研究所、自治体

連携



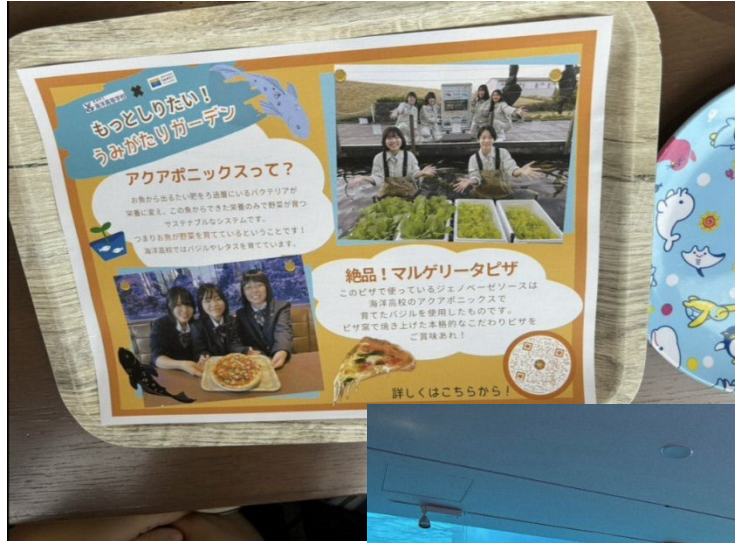
課題解決

次世代の水産業・農業を担うプロフェッショナルの育成

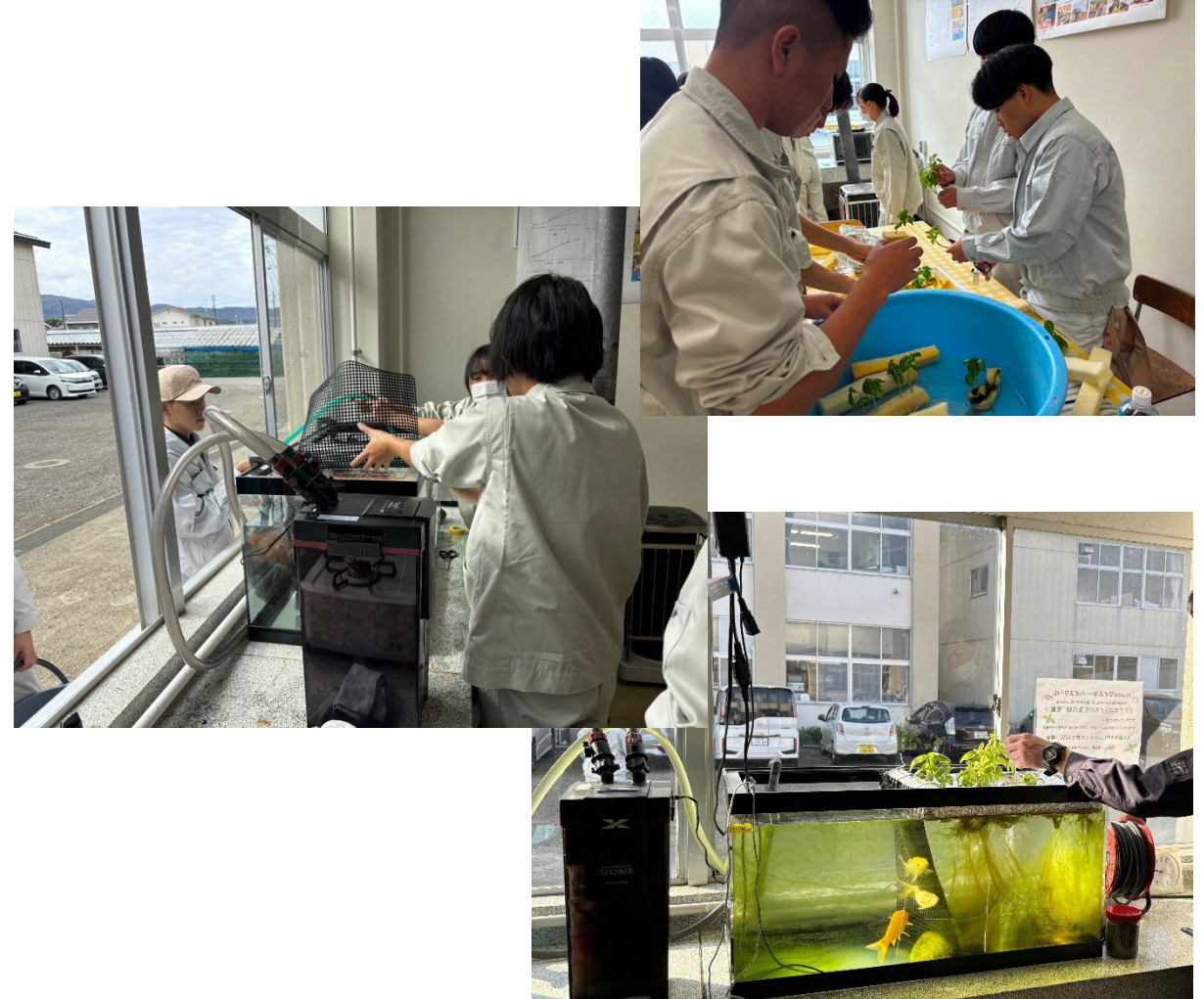


拠点校と普及対象校の TAN-KYプロジェクト

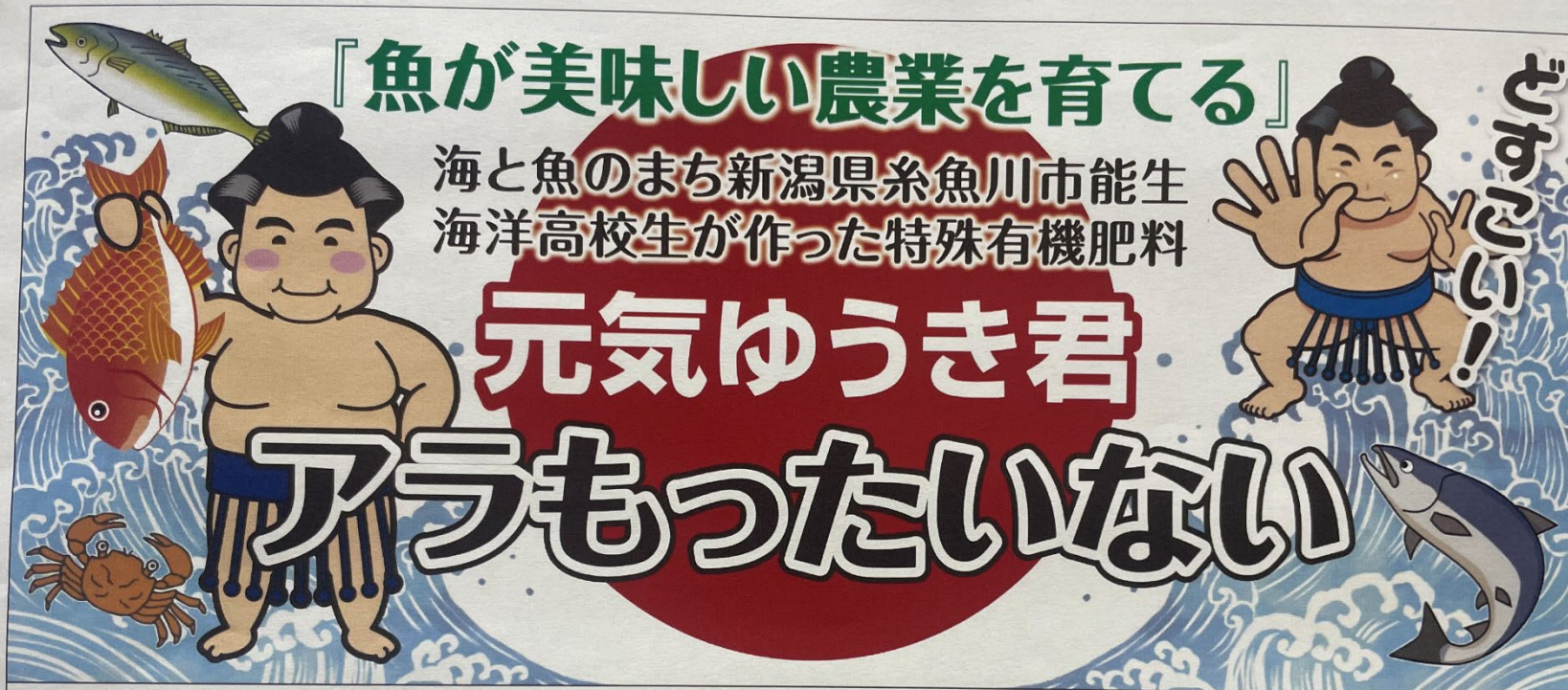
アクアポニックスの共同運用



上越市立水族館「うみがたりガーデン2024」のアクアポニックス企画展を海洋高校が運営



海洋高校の生徒が高田農業高校に小規模アクアポニックスを設置。水耕栽培技術のある高田農業高校と連携することで「うみがたりガーデン2025」の内容充実を図る



『魚が美味しい農業を育てる』

海と魚のまち新潟県糸魚川市能生
海洋高校生が作った特殊有機肥料

元気ゆうき君

アラもったいない

どずどずい!

【肥料取締法に基づく表示】

■肥料の名称 元気ゆうき君 アラもったいない
■肥料の種類 たい肥
■届出をした都道府県 新潟県 (第963号)
■表示者の氏名又は名称及び住所
新潟県立海洋高等学校
新潟県糸魚川市大字能生3040番地
■正味重量 8キログラム

■生産した年月 令和7年4月
(原料) 魚のアラ、米ぬか、蟹殻、発酵菌
備考：生産に当たって使用された重量の大きい順である。
■主要な成分の含有量等
窒素全量(3.4%)、リン酸全量(4.2%)、
カリウム全量(1.6%)、炭素窒素比(11)

海洋高校（1月）



対課題基礎力に大きな変化が見られた生徒への聞き取り結果のまとめ

【対課題基礎力が伸びた生徒】

教員 生徒の特徴	生徒		
	実践力がついたと思う活動	計画立案力がついたと思う活動	課題発見力がついたと思う活動
・集団の中で役割がある ・自信がある ・人前に出る機会がある ・楽しみながら学習できる ・性格が前向き ・計画性がある	・課題研究 ・乗船実習(3) ・部活動(3) ・実習(2) ・生徒会活動	・実習(3) ・資格の学習 ・受験や定期考査 ・部活動	・釣り(趣味) ・部活動(2) ・課題研究 ・調べ学習 ・生徒会活動

()内数字は人数

伸びた生徒の傾向

- ①学校生活の中で、力が付いたと感じる活動が複数ある。
- ②課外活動にも積極的に取り組んでいる。

「実践力」が含まれる「対課題基礎力」が伸びた生徒と伸びなかった生徒へのヒアリング結果を基に、今後必要な支援を学年単位で検討

高田農業高校（12月）



マイスター・ハイスクールCEOによる「TAN-KYプロジェクト」の意義の解説と校内普及に向けた意識醸成

ご清聴ありがとうございました。

